

札幌有惑クラブ
会長 鯉淵 正 様

タグラグビー指導者派遣対応の概要について

北海道ラグビーフットボール協会札幌支部
普及育成委員会 委員長 山本 清和

現状

RWC2019 及び新学習指導要領の影響により、体育の授業でタグラグビーを取り入れる学校が増加している。また、児童会館のサークル活動や公営体育館のスポーツ教室の種目にも採用されるようになった。しかし、教員や施設職員でタグラグビーを指導できる人材が少なく、当協会に指導者の派遣を依頼するケースが急増している。現在は、協会で指導者を派遣できるような体制ができておらず、田尻会長の会社で社会貢献活動の一環として対応しているのが現状である。

先ごろ、活動の中心となっていた社員2名が退社したため、指導者派遣が厳しい状況になっており、当委員会が相談を受けたところです。

課題

- 1) 指導者が不足しているため、その育成が急務である。
- 2) 派遣要請される時間が、平日の日中が多いため、一般的な社会人では対応が難しい。
- 3) 協会で指導者を組織化していないため、多方面から同時に要請された場合に対応できない。
- 4) 指導者の経費負担（交通費など）が曖昧。

対策

- 1) 平日の日中に活動できるシルバー人材や大学生を中心にタグラグビーの指導者を養成し、派遣依頼に対応したい。協会傘下のチーム及び団体から希望者を募り、タグエデュケーターによる研修会（3～4時間程度）を受講することにより指導者として認定する。
- 2) 認定された指導者を協会に登録し、随時派遣できる体制を構築する。
- 3) 依頼元には、指導者の経費（交通費等）を負担してもらう。それができない場合は、協会が負担する。
- 4) 指導者は、所属チームを通じて JRFU に個人登録されていることを必須とする。

派遣先及び指導対象、その他

札幌市内及び近郊（江別市、石狩市、北広島市）の小学校、児童会館などの児童、教職員。

※一昨年実績で小学校 17 校、児童館 13 箇所程度

指導時間は、出前授業の場合、1日1コマ（45分）の授業を4回～8回（1ヵ月程度）。

体験会の場合は、1回3～6時間程度の単発開催が多い。

札幌有惑クラブ様へのお願い

ラグビーの普及促進のため、タグラグビーの指導者となって活躍してくれる方を探しています。活動は、平日の日中が多くなります。指導対象は、小学生が中心です。教育活動の一環として指導するため、事前に研修会を受講してもらうこととなりますが、半日程度です。

貴クラブの会員様から、指導者になってくれる方を募集します。希望者がいましたら、4月末日までに山本までご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

以上